

カガクで  
ネガイを  
カナエル会社

**KANEKA**

(証券コード: 4118)

株主のみなさまへ

## 第93期 中間報告書

平成 28 年 4 月 1 日 - 平成 28 年 9 月 30 日

株式会社 **カネカ**

# 長期経営ビジョン『KANEKA UNITED宣言』の体系

## ● 経営理念

カネカの存在意義ないしは究極目的、社会的使命を表現

企業理念

人と、技術の創造的融合により未来を切り拓く価値を共創し、地球環境とゆたかな暮らしに貢献します。

あるべき姿および大切にしたい価値観を表現

目指す企業像

もっと、驚く、みらいへ。  
Dreamology Company

※Dreamologyはdream(夢)とlogy(学)を合成した造語

- 未来をつなぐ ●世界をつなぐ ●価値をつなぐ
- 革新をつなぐ ●人をつなぐ

## ● 経営ビジョン

具体的な経営活動方針

経営基本方針

事業目標 重点戦略分野 2020年の事業領域

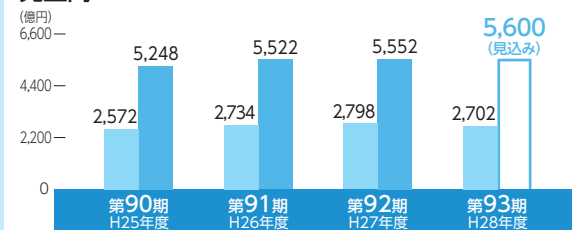
カネカグループは、一人ひとりの真摯で前向きな努力による企業理念の実現を通じて、社会的責任を果たします。

経営施策

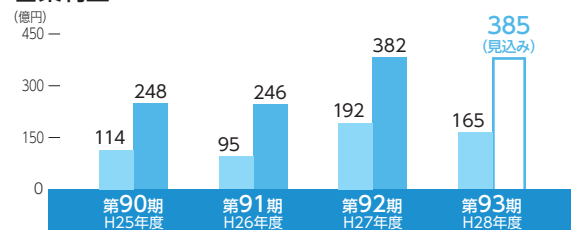
変革の実現に向けて

## 連結業績ハイライト

### 売上高



### 営業利益



## トップメッセージ



株主のみなさまにおかれましては、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2016年度上半期の業績及び今後の見通し等について、ご説明申し上げます。

代表取締役 社長

角倉 護

## 1. 上半期の業績について

2016年度上半期の世界経済は、全体として力強さを欠く展開となりました。米国経済は堅調に推移したものの、政治的動向を含め今後の見通しについては不透明感が高まっています。また、欧州経済は依然

回復が鈍く、中国経済も引き続き景気の減速状態が続いています。わが国経済も、住宅投資などで一部回復が見られるものの、個人消費は低迷し、急激な円高の進行が企業業績に影響を与えております。

このような状況のもと、カネカグループの上半期の業績につきましては、販売の拡大や事業構造改革に努めましたが、アジア市場が回復せず、円高の影響を受け、売上高は2,702億円(前年同期比3.5%減)と減収になり、営業利益は165億円(前年同期比

## 2. 今後の見通しについて

当社は、2020年(平成32年)に向けた長期経営ビジョン『KANEKA UNITED宣言』を策定しました。この中で、カネカグループの「変革」と継続的な「成長」を目指し、「環境・エネルギー」「健康」「情報通信」「食料生産支援」を重点戦略分野として位置づけ、経営の重点施策として、(ア)研究開発型企業への進化、(イ)グローバル市場での成長促進、(ウ)グループ戦略の展開、(エ)アライアンスの推進、(オ)CSRの重視、に取り組んでおります。

平成28年度は、長期経営ビジョンの実現に向けて、中期的な経営施策として、以下の施策を掲げて、着実に推進しております。

- (1)「研究開発」と「グローバル化の推進」を成長ドライバーとする事業ポートフォリオの変革を加速します。
- (2)優れた技術と素材開発を進め、ソリューションを提供できるメーカーを目指します。
- (3)当社の「変革」と「成長」を牽引するグローバルに活躍できる人材、リーダーシップを発揮できる人

14.2%減)と減益になりました。経常利益は140億円(前年同期比11.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91億円(前年同期比7.7%減)となりました。なお、中間配当金につきましては1株当たり9円とさせていただきます。

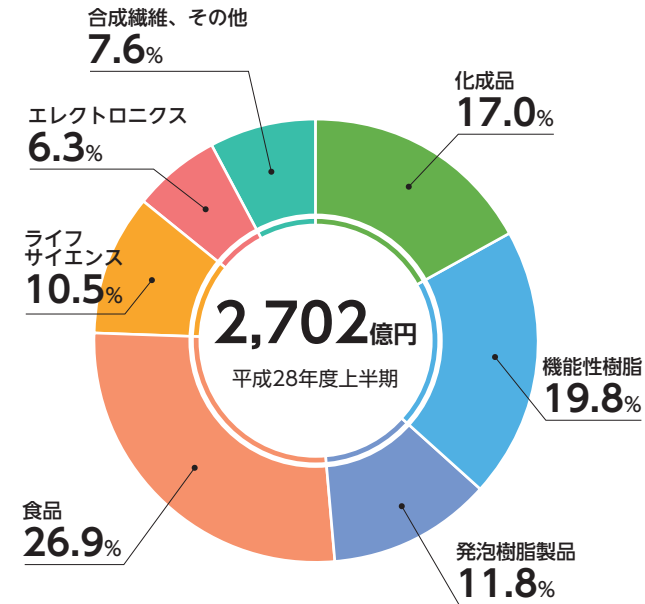
材の育成を重要な経営課題と位置づけ、育成プログラムを拡充します。

今後の世界経済につきましては、海外政治情勢や英国のEU離脱の影響が見通せない中でより不透明感が強まり、実体経済を下押しするリスクが高まっています。また、わが国経済も、経済対策や金融政策の効果が期待される一方で、円高の継続やアジアの景気回復の遅れにより外需や企業収益の下振れが懸念されるなど予断を許さない状況にあります。

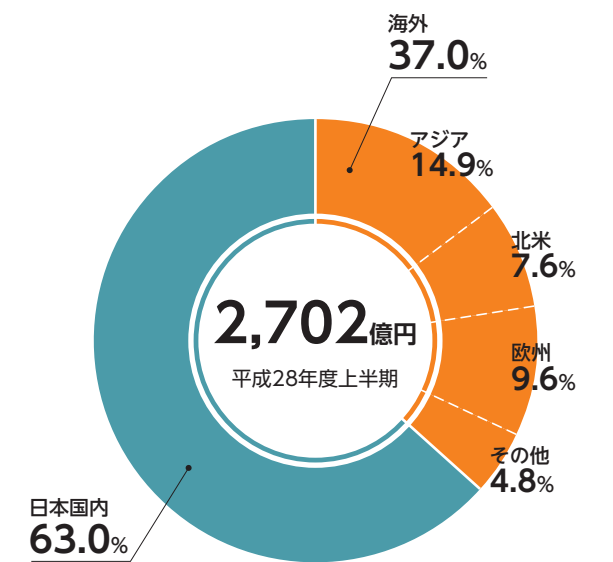
このような経済環境のもと、カネカグループは通期の業績見通しを下方修正いたしました。引き続き高い技術力を強みとした競争力のある製品群の収益力を強化するとともに、R&D強化による新規事業の創出に取り組み、事業構造の変革を加速することで収益の改善に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、尚一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 事業別 売上高構成比



### 地域別 売上高構成比



※グラフの比率は表示単位未満を四捨五入しています。



カネビニール®(塩化ビニル樹脂)  
日用品から産業用まで幅広く使用されているプラスチック。日本初の独自量産化に成功。

## 化成品事業

【主要製品】 塩化ビニール樹脂、塩ビコンパウンド、か性ソーダ、塩化物、塩ビ系特殊樹脂

塩化ビニール樹脂につきましては、アジア向け販売量が増加しました。円高と原料価格下落の影響を受けて、売上高は減少しましたが収益は改善しました。塩ビ系特殊樹脂につきましては、塩ビペースト樹脂の販売量がアジア向けを中心に増加した一方、塩素化塩ビはインド向けの販売が低調に推移しました。か性ソーダにつきましては、国内需要が低調に推移するなか、コスト低減に努め採算が改善しました。以上の結果、当事業の売上高は前年同期を下回りましたが、利益は上回りました。



**カネカMSポリマー®  
(変成シリコンポリマー)**  
建築用シーリング材、接着剤に使用される液状ポリマーとして、海外でも広く認知されています。

## 機能性樹脂事業

**主要製品** モディファイヤー、変成シリコンポリマー、耐候性MMA系フィルム

モディファイヤーにつきましては、円高の影響を強く受け売上高は減少したものの、製品差別化力の向上と非塩ビ用途向けなど新用途の拡販が進み、海外市場を中心に販売量は着実に増加しました。変成シリコンポリマーにつきましては、ユニークな品質特性が広く認知され、建築用途に加え工業用途での他素材からの置き換えが進み、欧州・米国・アジアの各市場において販売量が増加しました。マレーシアにおけるモディファイヤーの新系列増設工事(2017年3月稼働予定)および変成シリコンポリマーの生産設備新設工事(2017年7月稼働予定)はいずれも順調に進捗しており、設備稼働後は拡大するアジア市場での需要に確実に応えてまいります。また、前年度第4四半期会計期間よりセメダイン株式会社を連結子会社化し、海外展開を始めとしてシナジーを発揮させる取組みを進めています。以上の結果、当事業の売上高は前年同期を上回り、利益は前年同期並みとなりました。



**カネパール®(ビーズ法発泡ポリスチレン)**  
電気製品、精密機器などの緩衝包装材や魚函などに広く用いられる発泡ポリスチレンビーズ。その発泡成形体は軽く、耐熱性、クッション性、防湿性に優れています。

## 発泡樹脂製品事業

**主要製品** 発泡スチレン樹脂・成型品、押出法発泡ポリスチレンボード、ビーズ法発泡ポリオレフィン

発泡スチレン樹脂・成型品につきましては、農水産分野における需要が低調に推移しましたが、押出法発泡ポリスチレンボードにつきましては、住宅関連市場の緩やかな回復により販売が堅調に推移し、ビーズ法発泡ポリオレフィンにつきましては、自動車分野向けの販売が拡大しました。以上の結果、当事業は売上高、利益ともに前年同期を下回りました。



**ラシェンテ®(ホイップクリーム)  
フランジェ®(濃縮加工乳)**  
乳本来の自然な風味を活かす独自製法により、新しい洋菓子作りに貢献しています。

## 食品事業

**主要製品** マーガリン、ショートニング、高級製菓用油脂、パン酵母、香辛料

食品につきましては、国内需要の伸び悩みと低価格志向が継続するなかで、消費者のニーズを先取りした新製品の開発・販売に注力し、製品ミックスの高付加価値化を進めています。夏場過ぎの天候不順の影響を受けましたが、サプライチェーン全体の強化・効率化を目指した事業構造改革が進み、収益性が改善しました。以上の結果、当事業は売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

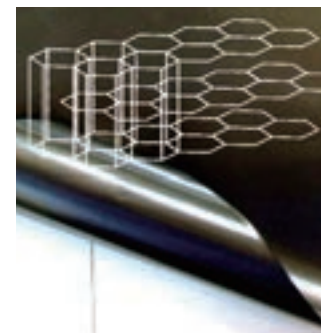


**カネカグラボノイド®  
(甘草グラボラポリフェノール)**  
甘草より抽出したポリフェノールを主成分として、独自技術で開発した機能性食品素材です。

## ライフサイエンス事業

**主要製品** 医療機器、医薬品(API・中間体)、機能性食品素材

医療機器につきましては、血液浄化事業の販売が低調に推移しましたが、インターベンション事業においては他社との共同事業の拡大などにより米国向けの販売量が増加しました。国内市場では償還価格改定の影響を受けましたが、消化器内治療など新領域への事業拡大にも注力しています。医薬品につきましては、APIやバイオリジクス分野における販売が順調に拡大しました。機能性食品素材につきましては、最大市場である米国を中心に還元型コエンザイムQ10の販売量が着実に増加し、日本でも機能性表示食品制度のスタートにより当社製品の認知が進み、販売が拡大しました。以上の結果、当事業は売上高、利益ともに前年同期を下回りました。



**グラフィニティ®  
(超高熱伝導グラファイトシート)**  
銅の3倍に匹敵する熱伝導率を示し、モパイル端末などの放熱に威力を発揮します。

## エレクトロニクス事業

**主要製品** 超耐熱ポリイミドフィルム、光学材料、超高熱伝導グラファイトシート、複合磁性材料、太陽電池

超耐熱ポリイミドフィルム、超高熱伝導グラファイトシートにつきましては、新たな牽引役である高機能品や新製品の販売が拡大しましたが、全般的なスマートフォン市場の立ち上がりの遅れや円高の影響を受けました。太陽電池につきましては、大手ハウスメーカー向けの販売量が増加するとともに、引き続き事業構造改革が進み採算が改善しました。また、世界最高レベルの変換効率を有するヘテロ接合技術を用いた新製品や高性能品の販売に注力するとともに、ネット・ゼロ・エネルギーハウスの実現に貢献するソリューションの提供に取り組んでおります。以上の結果、当事業の売上高は前年同期を下回り、営業損失となりました。



**Kanecaron®(アクリル系合成繊維)**  
エコファー素材等に使用され、世界市場で高いシェアを占めているモダアクリル繊維です。

## 合成繊維、その他事業

**主要製品** アクリル系合成繊維(カネカロン)

合成繊維につきましては、アフリカ市場での頭髮分野向けの販売は引き続き堅調に推移しているものの、アジア市場の回復遅れの影響を受けました。また、高付加価値品の拡販やコストダウンに努めましたが、円高の影響を強く受けました。以上の結果、当事業は売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

世界をつなぐ

# 黒人女性のファッションアイテム向け素材として、 アフリカで消費拡大するカネカロン



2015年度ミスカネカロン

## アフリカ諸国への展開

カネカロンは、頭髮装飾商品の素材として、アフリカでは30年以上にわたって受け入れられており、近年、ナイジェリアやガーナといったアフリカの国々では、経済成長とともに、サハラ砂漠以南のサブサハラ諸国の黒人女性のファッションアイテムとして付け毛(ヘアエクステンション)の消費が拡大しています。当社は、成長著しいアフリカの頭髮装飾商品市場において、パートナー企業である頭髮装飾商品メーカー、卸売、小売、美容サロンなどと協業して、バリューチェーン全体の付加価値を上げることに取り組み、また、ミスカネカロンコンテストやTV CMといったブランドプロモーション活動を行うことで、アフリカ市場におけるカネカロンブランド認知を向上させ、高い市場シェアを誇っています。

## TICADへの参画

2016年8月27日(土)、28日(日)の2日間、第6回アフリカ開発会議(TICAD)がケニア共和国の首都ナイロビで

### カネカロンとは?

カネカロン事業部では、原料や用途の違う複数の合成繊維の製造と販売を行っています。頭髮装飾用途には、モダアクリル繊維の「Kanekalon®」のほか、塩化ビニール繊維の「Advantage™」、難燃ポリエステル繊維の「futura®」、たんぱく繊維の「ULTIMA®」があります。また、エコファーや難燃作業服・災害用備蓄毛布等の素材に使用されているモダアクリル繊維「Kanecaron®」については、その素材特性を生かして、差別化された商品開発、用途開発、市場開拓を続けています。



ヘアエクステンション装着の様子

カネカの<sup>つなぐ</sup>“絆”とは… 当社は「もっと、驚く、みらいへ。」のコンセプトの下、「未来をつなぐ」「世界をつなぐ」「価値をつなぐ」「革新をつなぐ」「人をつなぐ」の5つの“絆(つなぐ)”に取り組んでいます。



安倍総理に、カネカロン事業のビジネスモデルとアフリカの産業育成について紹介

開催されました。TICADは、アフリカの開発をテーマとする国際会議で、過去に計5回日本で開催されてきましたが、今回は初のアフリカ開催となりました。当社は、安倍晋三内閣総理大臣の経済ミッション(77企業・団体の随行団)の一員として、経団連会長をはじめ、アフリカ進出企業・団体の経営陣とともに出席しました。併催のビジネス・カンファレンスや展示会「ジャパンフェア」を通じて、安倍総理をはじめ日本・アフリカ各国の首脳・閣僚・国会議員など政府関係者、および多数の各国民間企業に、カネカロン事業のビジネスモデルとアフリカの産業育成について、アピールしました。

## ガーナ共和国に駐在員事務所を開設

アフリカでの事業展開の加速を目的として、2016年4月25日、ガーナ共和国アクラ市に、カネカグループとして初めてのアフリカ拠点となる駐在員事務所 Kaneka Africa Liaison Officeを開設しました。アフリカは欧州統括会社 Kaneka Europe Holding Company N.V.の管轄地域であることから、同社の傘下に設置し、カネカロン事業のサブサハラにおけるさらなる拡大をサポートするとともに、その他の事業についても市場調査、商機の探索を行い、現地視点でその成長戦略を具体化することで、アフリカ市場の成長力を最大限に取り込み、当社のグローバル展開加速の一翼を担います。



Kaneka Africa Liaison Officeのビル外観とオフィスの様子

### ポーター賞受賞

ハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授の名前を冠した「ポーター賞」は、2001年に一橋大学大学院が創設した賞で、優れた企業戦略に対して贈られます。カネカロン事業は、アフリカにおける頭髮装飾商品市場の育成と高付加価値化を同時に進め、バリューチェーンにおける各段階のパートナーと共に成長できる仕組みを構築したことから、2015年に受賞企業として選ばれました。



授賞式の様子

米国西海岸の研究・事業開発拠点を本格稼働

当社は米国西海岸に設立した研究・事業開発拠点を Kaneka US Innovation Center と命名し、本年9月より本格的に活動を開始しました。

シリコンバレー近郊に設置した同Centerを核にして、当社の重点戦略分野である「健康」「情報通信」分野での新規事業開発を加速させます。

サンフランシスコやサンディエゴなどの米国西海岸地区は「健康」「情報通信」分野における世界最先端の研究開発や産業の集積地であり、スタンフォード大学など世界有数の大学とのオープンイノベーションやベンチャー企業との提携が活発です。

この地にカネカグループの研究・事業開発拠点を設立し、米州で展開している既存の機能性食品・医療器事業や電子材料関連事業の更なる拡大を実現するとともに、

従来の延長線上にはない新規領域での事業創造を目指します。



カリフォルニア州ニューアークにあるテナント型の巨大な研究施設 Pacific Research Center内にKaneka US Innovation Centerがあります。

ジェネリック医薬品向け医薬品原薬の生産能力増強を決定

当社はグループ会社である(株)大阪合成有機化学研究所(以下、大阪合成)でジェネリック医薬品\*向け医薬品原薬生産設備の基盤整備並びに生産能力増強を決定しました。



(株)大阪合成有機化学研究所 柵原工場

大阪合成は抗アレルギー薬、血圧降下剤、胃炎薬等のジェネリック医薬品向け医薬品原薬を生産・販売しており、柵原工場(岡山県)に10

数億円を投資し、新製造棟建設並びに能力増強を行い、2017年下期の稼働時には現状に対して生産能力を約50%増加させます。

日本政府は「経済財政運営と改革の基本方針2015」の中で、ジェネリック医薬品数量シェアを2017年央に70%以上、2018~2020年度には80%以上とする方針を掲げており、市場は急成長しています。

当社は引き続きグループ全体での基盤整備並びに能力増強を実施し、医薬品原薬事業を拡大させるとともに、バイオ医薬品事業を更に強化することで医薬品関連事業の成長を目指しています。

\*ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品の特許が切れた後に製造・販売され、先発医薬品と有効性や安全性が同等であると認められた医薬品です。

CSR

高砂工業所に「KANEKA サステナブルニュータウン」が竣工

当社高砂工業所(兵庫県)では社宅を新築し竣工を迎えました。

「KANEKA サステナブルニュータウン」と名づけたこの社宅には、当社グループの先進の環境技術



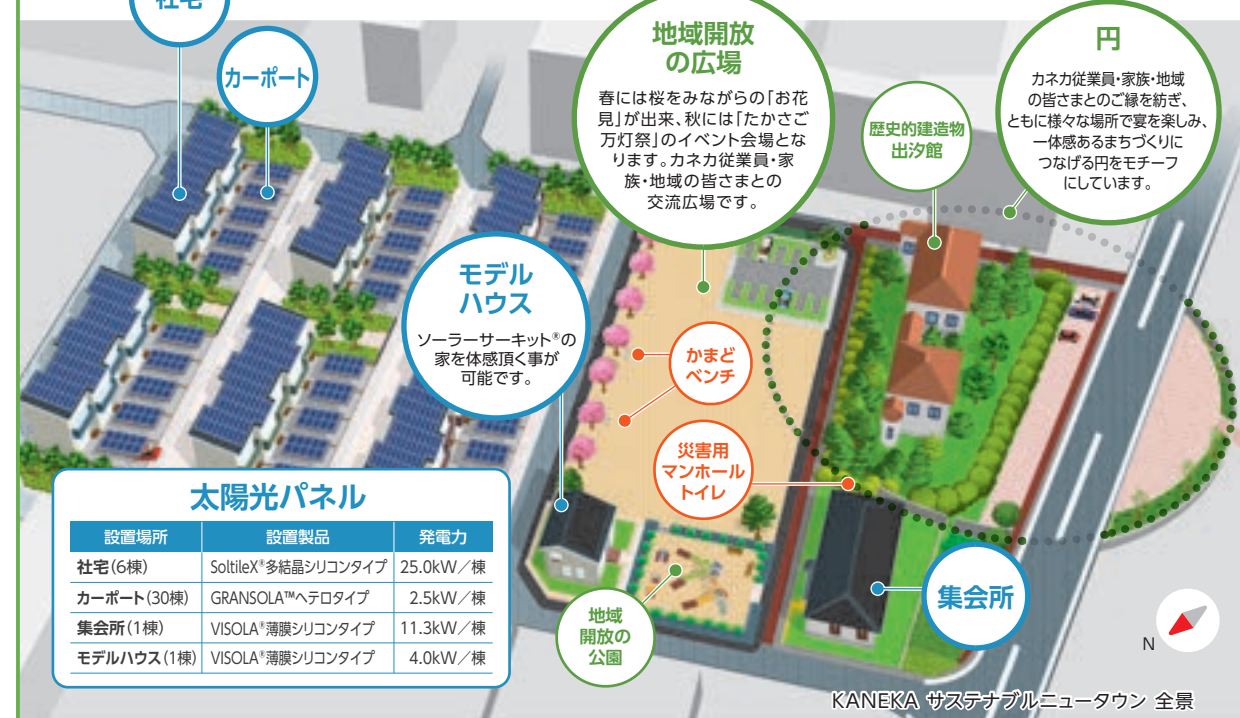
社宅

カネカ社宅

術・住宅技術、製品がふんだんに導入され、「モノ」から「コト」に取り組む当社のビジネスを形にしています。

「家族の健康をかなえたい」「ぐっすり眠りたい」「ゼロエネルギーで暮らしたい」の実現のために当社が何ができるのかを考え続けています。

また、災害時に備えた設備や児童公園を近隣に開放して、地域とともにサステナブルな街として歩んでいきます。



四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:億円)

| 科目      | 第93期         | 第92期         |       |
|---------|--------------|--------------|-------|
|         | 平成28年9月30日現在 | 平成28年3月31日現在 |       |
| 資産      | 流動資産         | 2,610        | 2,737 |
|         | 固定資産         | 3,020        | 3,035 |
|         | 資産合計         | 5,630        | 5,773 |
| 負債      | 流動負債         | 1,555        | 1,636 |
|         | 固定負債         | 1,022        | 1,050 |
|         | 負債合計         | 2,577        | 2,685 |
| 純資産     | 株主資本         | 2,909        | 2,868 |
|         | その他          | 144          | 219   |
|         | 純資産合計        | 3,053        | 3,087 |
| 負債純資産合計 | 5,630        | 5,773        |       |

Point

- **総資産**は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ142億円減の5,630億円となりました。
- **負債**は、借入金の減少等により108億円減少し、2,577億円となりました。
- **純資産**は、為替換算調整勘定の減少等により34億円減少し、3,053億円となりました。

Point

- **売上高**は、前年同期に対し97億円減収(前年同期比3.5%減)となりました。
- **営業利益**は、前年同期に対し27億円の減益(前年同期比14.2%減)となりました。
- **経常利益**は、前年同期に対し18億円の減益(前年同期比11.2%減)となりました。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、前年同期に対し8億円の減益(前年同期比7.7%減)となりました。

Point

- **営業活動**によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により262億円の収入となりました。
- **投資活動**によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により203億円の支出となりました。
- **財務活動**によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出や配当金の支払額等により87億円の支出となりました。
- この結果、**現金及び現金同等物の当第2四半期末残高**は、392億円となりました。

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:億円)

| 科目               | 第93期                    | 第92期                    |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
|                  | 平成28年4月1日から平成28年9月30日まで | 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで |
| 売上高              | 2,702                   | 2,798                   |
| 営業利益             | 165                     | 192                     |
| 経常利益             | 140                     | 158                     |
| 税金等調整前四半期純利益     | 137                     | 153                     |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 91                      | 99                      |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:億円)

| 科目               | 第93期                    | 第92期                    |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
|                  | 平成28年4月1日から平成28年9月30日まで | 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 262                     | 316                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 203                   | △ 228                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 87                    | △ 17                    |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 392                     | 354                     |

※詳細の情報をお知りになりたい方は、当社WEBサイトをご覧ください。

国内ネットワーク

|          |                    |                    |                  |
|----------|--------------------|--------------------|------------------|
| 化成品      | ■ 昭和化成工業(株)        | ■ 龍田化学(株)          | ■ サンビック(株)       |
| 機能性樹脂    | ■ セメダイン(株)         | ■ セメダインオートモーティブ(株) |                  |
| 発泡樹脂製品   | ■ カネカ北海道スチロール(株)   | ■ カネカ東北スチロール(株)    | ■ カネカ関東スチロール(株)  |
|          | ■ カネカ中部スチロール(株)    | ■ カネカ西日本スチロール(株)   | ■ 関東スチレン(株)      |
|          | ■ (株)羽根            | ■ 玉井化成(株)          |                  |
|          | ■ 高知スチロール(株)       | ■ カネカフォームプラスチック(株) | ■ カネカケンテック(株)    |
|          | ■ 北海道カネライト(株)      | ■ 九州カネライト(株)       | ■ (株)ソーラーサーキットの家 |
|          | ■ ダイヤケミカル(株)       | ■ イビデン樹脂(株)        |                  |
|          | ■ (株)イーピーイ         |                    |                  |
| 食品       | ■ カネカ食品(株)         | ■ (株)カネカフード        | ■ (株)東京カネカフード    |
|          | ■ (株)カネカサンスパイ      | ■ 太陽油脂(株)          | ■ 新化食品(株)        |
|          | ■ 長島食品(株)          |                    |                  |
| ライフサイエンス | ■ (株)カネカメディックス     | ■ (株)大阪合成有機化学研究所   | ■ (株)リバーセイコー     |
|          | ■ ユアヘルスケア(株)       |                    |                  |
| エレクトロニクス | ■ 栃木カネカ(株)         | ■ カネカソーラーテック(株)    | ■ (株)ヴィーネックス     |
|          | ■ カネカソーラー販売(株)     | ■ OLED青森(株)        |                  |
| 合成繊維、その他 | ■ (株)カネカ高砂サービスセンター | ■ カネカ保険センター(株)     |                  |

海外ネットワーク

|           |                            |                           |                        |
|-----------|----------------------------|---------------------------|------------------------|
| ヨーロッパ     | ■ カネカヨーロッパホールディングカンパニーN.V. | ■ カネカベルギーN.V.             | ■ カネカファーマヨーロッパN.V.     |
|           | ■ ユーロジェンテックS.A.            | ■ カネカモディファイヤーズドイチュラントGmbH |                        |
| アメリカ      | ■ カネカアメリカズホールディングInc.      | ■ カネカノースアメリカLLC           | ■ カネカファーマアメリカLLC       |
| アジア/オセアニア | ■ カネカシンガポールCo.(Pte)Ltd.    | ■ カネカマレーシアSdn.Bhd.        | ■ カネカエペランSdn.Bhd.      |
|           | ■ カネカペーストポリマーSdn.Bhd.      | ■ カネカインベティブファイバースdn.Bhd.  | ■ カネカアピカルマレーシアSdn.Bhd. |
|           | ■ カネカMSマレーシアSdn.Bhd.       | ■ PT.カネカフーズインドネシア         | ■ カネカタ일랜드Co.,Ltd.      |
|           | ■ 蘇州愛培朗緩衝塑料有限公司            | ■ 鐘化(佛山)高性能材料有限公司         | ■ 青島海華纖維有限公司           |
|           | ■ 鐘化企業管理(上海)有限公司           | ■ 鐘化貿易(上海)有限公司            |                        |

■印は連結子会社、■印は持分法適用関連会社であることを示します。

連結子会社の数 76社 (上記以外に連結子会社が16社あります。)

持分法適用関連会社の数 3社 (上記以外に持分法適用関連会社が1社あります。)

会社の概要

社名 株式会社 **カネカ** (KANEKA CORPORATION)  
 本店 〒530-8288  
 大阪市北区中之島二丁目3番18号  
 TEL (06)6226-5050(代表)  
 設立年月日 昭和24年9月1日  
 資本金 33,046,774,709円  
 ホームページ <http://www.kaneka.co.jp/>

役員

|                  |              |
|------------------|--------------|
| 代表取締役会長 菅原 公一    | 常務執行役員 水澤 伸治 |
| 代表取締役社長 角倉 護     | 常務執行役員 川勝 厚志 |
| 取締役副社長 永野 広作     | 常務執行役員 青井 郁夫 |
| 取締役副社長 田中 稔      | 常務執行役員 塗 靖明  |
| 取締役専務執行役員 中村 敏雄  | 常務執行役員 落合 計夫 |
| 取締役常務執行役員 岩澤 哲   | 常務執行役員 穂谷 文則 |
| 取締役常務執行役員 天知 秀介  | 常務執行役員 木村 雅昭 |
| 取締役常務執行役員 亀高 真一郎 | 執行役員 上田 恭義   |
| 取締役常務執行役員 石原 忍   | 執行役員 武岡 慶樹   |
| 取締役常務執行役員 藤井 一彦  | 執行役員 丸藤 峰俊   |
| 取締役(社外) 井口 武雄    | 執行役員 鷲見 泰弘   |
| 取締役(社外) 毛利 衛     | 執行役員 牧 春彦    |
| 監査役(常勤) 松井 英行    | 執行役員 榎 潤     |
| 監査役(常勤) 岸根 正実    | 執行役員 泥 克信    |
| 監査役(社外) 藤原 浩     | 執行役員 西村 理一   |
| 監査役(社外) 魚住 泰宏    | 執行役員 岡部 貴    |
|                  | 執行役員 小森 敏生   |
|                  | 執行役員 安田 尊宗   |

株式の状況

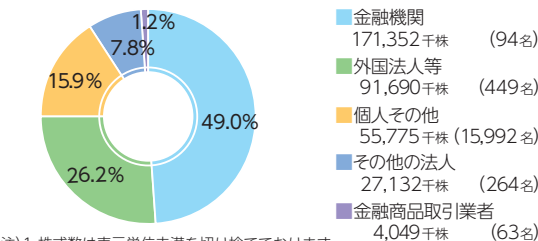
発行可能株式総数 750,000,000株  
 発行済株式の総数 350,000,000株  
 株主数 16,862名  
 1人あたり平均持株数 20,757株

大株主の状況

| 株主名                        | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 17,095  | 5.13    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 16,795  | 5.04    |
| 日本生命保険相互会社                 | 15,570  | 4.67    |
| 株式会社三井住友銀行                 | 15,458  | 4.64    |
| 明治安田生命保険相互会社               | 14,125  | 4.24    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 13,421  | 4.03    |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行              | 11,544  | 3.47    |
| 三井住友海上火災保険株式会社             | 10,524  | 3.16    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 6,272   | 1.88    |
| 三井物産株式会社                   | 5,543   | 1.66    |

(注) 1. 持株数は表示単位未満を切り捨てております。  
 2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数を基準に算出し、小数第三位を四捨五入しております。  
 3. 上記のほか、当社が保有している自己株式が16,896千株あります。

所有者別株式分布状況



(注) 1. 株式数は表示単位未満を切り捨てております。  
 2. 比率は小数第二位を四捨五入しております。

WEBサイトのご案内

<http://www.kaneka.co.jp/>

**IR情報**  
 社長メッセージや適時開示情報・財務情報などを掲載しています。

カネカCM  
 スペシャルサイト  
 CM動画も  
 ご覧いただけます。

街のいたるところで活躍している  
 カネカ製品をご紹介します。

お家のお話  
 ぐっすりとお眠りたい、ゼロエネルギーで暮らしたい  
 そんなカネカならではの家づくりをご紹介します。

株主メモ

|                            |   |       |
|----------------------------|---|-------|
| 事業年度                       | 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  |       |
| 定時株主総会                     | 6月  |       |
| 基準日                        | 定時株主総会  | 3月31日 |
|                            | 期末配当金   | 3月31日 |
|                            | 中間配当金   | 9月30日 |
| 公告方法                       | 電子公告<br><a href="http://www.kaneka.co.jp/koukoku/index.html">http://www.kaneka.co.jp/koukoku/index.html</a> |       |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |       |
| 同連絡先                       | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>(お問合せ先) TEL 0120-094-777(通話料無料)                      |       |

(注) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。  
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(カバーアート) アーティスト: 曾谷朝絵  
 ・タイトル: Blow  
 ・制作年: 2015

